

あなたの本との出会いをお手伝い……図書館使い

# BOOK

NO. 9

BOOK は図書館のワクワクを皆さんにお伝えするメディアです。皆さんが図書館に感じるワクワクも教えて下さい。知らない人に教えてあげましょう。

2013年8月20日発行 / 隔月刊  
発行 & 編集 = 山形村図書館

図書館に愛を注ぎたい。

村の小さな図書館は、村のみんなが好き……。  
皆が来てくれるのを待っています。  
利用して頂ける事が一番の応援なのですが、さらに  
「肌ぬいでやろう」という応援団を  
「山形村図書館を愛する会」といいます。

## 「山形村図書館を愛する会」について

公民館図書室から山形村図書館になって丸2年、図書館活動に協力し、少しでも図書館運営の助けになればと言う趣旨で、図書館協議会委員を中心に結成されました。現在会員は十名ほどで、少しずつではありますが、愛する図書館が順調に成長できることを願って活動をしています。

昨年の五月に結成され、今まで図書館開館1周年記念コンサート・図書館便り「BOOK」の発行・ナイトライブラリー・花壇作り・文藝祭時の工作教室・絵本のお菓子作り・大臣表彰記念公演などのボランティア活動を行っています。

山形村図書館は本場に規模の

小さな図書館です。小さいことは良いことだが、特色を出し、ユニークな図書館づくりに取り組んでいる職員の方に賛同し、あたたかな・明るい楽しい図書館づくりに、協力頂ける会員を大募集しています。詳細につきましては図書館職員にお尋ね下さい。ぜひ、1人でも多くの皆さまのご入会をお待ちいたします。

なお、おはなしの

会・読み聞かせボランティアの方、民話クラブなどのサークルの方には、従来以上のご協力をお願いします

と共に、それらサークル単位での入会もお待ちしております。

山形村図書館を愛する会会長

村井稔

会の人達は村の小さな図書館が可愛いのです。順調に成長出来るように、見守り、サポートして頂きます。それが「山形村図書館を愛する会」です。



「ばばあちゃんのよもぎだんご」作りのワークショップは大盛況でした

## 心に残る詩

須永恵次 選 図書館を愛する会

震えるほどに共感出来る詩、あなたの背中をそっと後押ししてくれる詩との出会いは、きつとあなたを幸せにしてくれる。そんな詩を求めて……。

この夏、宮崎駿監督の「風立ちぬ」が公開されました。監督は、「この映画は、実在した（零戦の設計者）堀越二郎と同時代に生きた文学者（風立ちぬ）の作者、堀辰雄をこちやませにして、ひとりの主人公二郎」にしたでている」と映画の企画書で書いています。\*（一）内は、選者が加筆。今回は、小説「風立ちぬ」の一部分をご紹介します。

「風立ちぬ」（序曲から）堀辰雄

そんな日のある午後、（それはもう秋近い日だった）私たちはお前の描きかけの絵を画架にたてかけたまま、その白樺の木蔭に寝をべって果物を齧っていた。砂のように雲が空をさらさらと流れていた。そのとき不意に、どこからともなく風が立った。

私たちの頭の上では、木の葉の間からちらっと覗いている藍色が伸びたり縮んだりした。それとほとんど同時に、草むらの中に何かがぱたりと倒れる物音を私たちは耳にした。（中略）

風立ちぬ、いざ生きまやも。

## 蔵書点検が 終わりました

7月8日、9日に、今年度の蔵書点検をしました。図書館を愛する会の方や、利用者の方がお手伝いをしてくださいました。

おかげでスムーズに点検作業が終りました。



人形劇に夢中のお母さんと子どもたち

7月6日(土)、トレーニングセンターにて、人形劇団「やまんば」による公演が行われました。「子ども」の読書活動優秀実践図書館」の表彰を記念して、子供たちに楽し

## 大盛況！人形劇団 「やまんば」公演

少ないうそれとも、なくなっちゃう本であるんだとビックリ？「あれ、こんな本借りていたっけ？」という本がおうちにあったら、図書館に持ってきてね。

その結果、今年の不明本は、3冊でした！

1冊1冊抜き出しながら専門の

機械でバーコードを読み取っていくこの作業、なかなか肉体労働なので

す。高い棚から、低い棚まで、首を延ばしたり、かがんだりしながら

作業をしていきます。棚の奥に隠れていた、本の間に埋もれていて

読み取り損ねた資料なども、たんにんに探していきます。

んでもらおうと企画したものです。

当日は幅広い年代の皆さん150人ほどが集まってくれました。

子供に人気の「やぎのガラガラドン」、嫁としゅうとめの駆け引きが

笑える「ぼたもちがえる」。観客の熱気で冷房も追いつかないくらいだ

た中、最後まで楽しんでくださって、ありがとうございました。



「何者」  
朝井リョウ 新潮社

直木賞を受賞したこの作品、就職活動中の大学生の人間関係を実際の会話(「Twitter」)で構成されています。

### 私のこの一冊 吉田晃康 図書館利用者

表面上は平静を装いながらも、就職が決まらずに焦り、嫉妬し、時には揶揄して、最後にはそれが自分に跳ね返ってきて心がヒリヒリするよつな場面が待っています。TwitterもFacebookもやらずに携帯もスマホでない自分が読んでも共感できる部分があったので、自分自身がシューカツ中に読んだらもつとハマつたかもしれないと感じました。ただ同時に大人になっても人間関係の本質はそんなに変わらないなと思いました。

ふと口を衝いて出て来たそんな詩句を、私は私に<sup>また</sup>靠れているお前の肩に手をかけながら、口の裡で繰り返していた。堀は、フランスの詩人 ポール・ウアレリーの「海辺の墓地」からのこの一行を抜粋しています。「海辺の墓地」最後の場面で、今までの響く静寂な海辺の墓地に風が起ります。「今は生きなさい」と手をさしのべるように。是非、ヴァレリーの詩も読んでみてください。

6.7月の貸出ベスト10

- 1位 野心のすすめ / 林真理子
- 2位 友罪 / 葉丸 岳
- 3位 海賊とよばれた男 / 百田尚樹
- 4位 芸人の妻たち / 太田プロ芸人妻
- 5位 死の淵を見た男 / 門田隆将
- 6位 想像ラジオ / いとうせいこう
- 7位 ランチのアッコちゃん / 柚木麻子
- 8位 わりなき恋 / 岸恵子
- 9位 夢幻花 / 東野圭吾
- 10位 「動かない」と人は病む / 大川弥生

モモセの図書館日記

魅力のマイカード

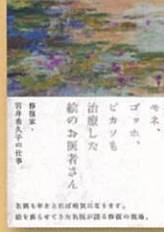
山形小学校の3年生が、今年も図書館見学に来てくれました。貸出カードを持っていない子には、これを機会に作って渡します。自分の名前が入ったカードを手にしてうれしそうな図書館初心者たちです。一方常連組は・・・。「レシート出してください」「この本次予約したいんだけど」と、図書館を使いこなしてるぞ!と常連度をアピールしているのがほほえましい。

放課後さっそく足を運んでくれたのは新規マイカード組です。「これ借りまーす」「返しまーす」「これやめてこっち借りまーす」を繰り返します。カウンターで自分のカードを出すという行為はとても誇らしいものなのでしょう。1・2歳の子どもたちだって、自分でカードを渡すといってきかないものね。

カードに無頓着な大人は、診察券を出してみたり、イオンカードを出してみたり……。すいません、これは使えません。ポイントつきません。

おねえさん、おすすめ新着本

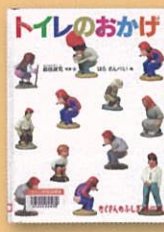
「モネ、ゴッホ、ピカソも治療した絵のお医者さん」岩井希久子  
ゴッホの「ひまわり」、モネの「睡蓮の池」など、絵画の修復家の語る修復の現場、自身の人生。



「ランドセル俳人の五・七・五」小林凜 / なんといつても俳句がうまい! わたくし、ファンになりました。



「トイレのおかげ」森枝雄司  
トイレのない時代もあったんだって! こんなんふうにしていいの? とビックリするよ。



「家族写真」萩原浩  
笑った後に心にじんわりしみてくる、愛すべき家族物語。



「うちは精肉店」本橋成一  
いのちを生かす、屠畜の仕事。その一部始終を写真絵本で。



「今森光彦の昆虫教室とりかた」今森光彦  
網の振り方、標本の作り方まで、今森先生が伝授します。



図書館からお知らせ  
あなたも「図書館を愛する会」にはいりませんか?  
「図書館を愛する会」は「村図書館」大好きな人々が集まっています。

今まで、記念事業のイベントのお手伝いや、よもぎだんご作りの助っ人、図書館前にお花を植えたり、おうちの苗を分けてくれたり、たくさんのご協力をいただきました。ありがとうございます。あなたのご協力で、村図書館をさらに素敵な図書館に育ててください。

STAFF  
編集&文: 百瀬恵津子 / 石川弘美 / 保坂彦  
デザイン: 森の中のデザイン室  
小学校の読み聞かせボランティアもいつでも募集中。